



## 『三好丸』～希望の船～

教頭 志賀則彦

三好特別支援学校の伝統として、先輩から後輩に脈々と受け継がれるものに、「三好ソーラン」がある。大きな大漁旗が高々と掲げられ、大漁船に乗った勇者達が登場する。総勢200人を超す生徒の熱気に満ちた踊りが、大きなエネルギーとなり、見る者全てを包み込んで会場が一体となる。私自身の内にある生命の鼓動が共鳴するのを感じた。

話は変わるが、平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」を毎週楽しみに見ていた。タイトルの『真田丸』は、真田幸村が、大坂の陣で築いたと言われる出城「真田丸」に由来するが、また、真田家を「戦国の荒波に立ち向かう一艘の船」にたとえた掛詞となっている。「真田家の存亡をかけて戦国の世を生き抜こうとする一族の固い絆」「私利私欲を超えた誠実な生き方」「最後まで決して希望を捨てない強い心」このドラマから多くのことを教えてもらった。最終話で、負け戦（いくさ）を前におびえる茶々に幸村がこう言った。「希望（のぞみ）を捨てない者にだけ、道は拓けるのです。」

今「三好丸」の乗組員は、児童生徒414名、教職員206名、総勢620名である。この先行きの不透明な混沌とした時代の荒波に向かって、「みんなで希望をもって」力強く突き進んで行こうと思います。どうぞ、保護者の皆様及び関係者の皆様の温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。



## アモーレ！ はあとまつり

12月2、3日の二日間、文化祭「はあとまつり」が行われました。一人一人の児童生徒がそれぞれの力を十分に発揮し、たくさんの笑顔が見られました。

小学部では、各学年が教室や特別教室で発表を行いました。6年生は「ブレーメンの音楽隊」を発表しました。仲間を増やすことの喜びと仲間と力を合わせることの大切さを伝えることができました。最後に、「世界中の子どもたちが」の合奏を披露しました。

中学部は、各学年が日頃の学習の成果を取り入れた発表を行い、個々の成長や友達と協力する姿をたくさんの人に見ていただけました。3年生はグループごとの特技の発表に加え、フィナーレには自分たちを支えてくれている人たち、とくに家族への感謝の気持ちを込めて合唱しました。

高等部は各学年によってテーマを決めて取り組んでいます。3年生は「おいでませ広島！ 楽しい思い出の世界へ！」と題し、修学旅行のジオラマを紹介したり、広島をモチーフにした簡単なゲームを行ったりして、お客さんに楽しんでもらいました。ステージ発表では、生徒が考えた思い出の詩の群読や「365日の紙飛行機」の発表を行い、3年間の集大成をお見せすることができました。



## 楽しかった修学旅行（小学部6年生）

一日目（10月27日）は、朝から天気も良く、おかざき世界子ども美術博物館では広場で思いっきり体を動かして遊ぶことができました。二つ目の目的地のはままつフルーツパークでは、みかんの木を探しながら園内を歩き、自分で収穫したみかんはいつもよりおいしく感じました。宿に着くと窓から見える浜名湖の景色がとてもきれいで、友達とたくさん写真を撮りました。お家の人と離れても、友達と一緒に過ごす時間がとても楽しく、あっという間の一日目でした。二日目（10月28日）は、朝の気持ち良い風を感じ、朝食を食べ、いざ出発！！と宿を出た瞬間に突然の雨！！誰もがびっくりでした。楽しみにしていた浜名湖パルパルも雨で予定変更でしたが、乗り物やアトラクションをしっかりと楽しみ、どんな状況でも楽しむことができる6年生のみんなの力と成長を強く感じました。学校生活で培った生活力がしっかり生かされ、みんなで楽しい修学旅行にすることができました。



## 最高！の修学旅行（中学部3年生）

11月10日（木）～11日（金）の二日間、大阪へ修学旅行に行きました。一日目は、海遊館へ行きました。建物の前で集合写真を撮り、いざ館内へ。クラスごとに見て回り、大きなジンベエザメが悠然と泳ぐ水槽をのぞき込んだり、サメやエイにタッチしたりして、貴重な体験ができました。ホテルでは、自分で布団を敷いたり、友達と枕投げをして遊んだり、部屋でも楽しい時間を過ごしました。二日目は、待ちに待ったユニバーサル・スタジオ・ジャパンです。朝の支度を早めに済ませ、開園と同時に入園。たっぷり3時間あったはずですが、「ジョーズに乗ろう！」、「次はスヌーピー！」、「お土産も買わなきゃ！」と、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。いつもと違った環境でも落ち着いて過ごしたり、集団で行動したりすることができ、さすが3年生でした。仲間と一緒に楽しく過ごした二日間、最高の思い出になりました。



## 愛びっくバスケットボール大会の結果

◎愛びっくバスケットボール大会成績

男子

1回戦 対半田特別支援学校  
8対21 負け  
交流戦 対いなざわ特別支援学校  
4対12 負け

女子

1回戦 対春日台特別支援学校  
6対21 負け  
交流戦 対守山養護学校  
22対14 勝ち



### 中学部3年生との交流（小原学園）

10月5日、19日の二日間、本校中学部3年生と小原学園生徒の交流を行いました。小原学園の生徒は運動会、はあとまつり、入学式、卒業式など、年に数回しか本校の友達とふれあう機会がありません。三好の生徒として本当に実現を待ち望んだ交流でした。5日は本校の遠足で小原学園を訪問し、交流を実施しました。そのため学園側は全員でお出迎えをしました。本校の友達に学園の様子はどうか映ったのでしょうか？ そんなことを思いつつ交流がスタート。太鼓を一緒にたたいたり、学園の施設を見学したりと、短い時間ながらお互いの距離が縮まる素敵な時間となりました。19日は学園3年生が本校に出向いて交流。温かな歓迎ムードのおかげもあり、生徒達は最初から落ち着いて交流に臨めました。3校時から体育、音楽と一緒に授業を受け、その後待ちに待った給食。学園生にとって巨大な食堂はまるで異空間。大勢の友達と大音量のBGMに圧倒されていましたが、給食をほおぼると一気に顔がほころびました。本校の給食も大好きになったようです。午後は修学旅行に向けての事前学習。本校の友達と一緒に日程の確認や娯楽施設の疑似体験などを楽しく学習しました。今回の交流は初めての試みでしたが、本当に意味のあるものであったことを、この後の修学旅行が物語っていました。この成果を受けて今後もよりよく継続していきたいと強く感じています。





## みよしアーカイブス Vol.3



1970年秋、春日台分校時代の小学部修学旅行（伊勢志摩方面）の様子です。二見シーパラダイス(現伊勢夫婦岩ふれあい水族館シーパラダイス)に入場するところ。「東洋一」の看板が時代を感じさせますね。大阪万博の年です。



1975年4月、いよいよ三好特別支援学校（当時は養護学校）がスタートしました。開校式と入学式と始業式を一緒に行いました。



※ プライバシー保護のため写真の一部を加工してあります。

### \* 3月までの主な予定 \*

- 2月 9日 (木) 個別懇談週間 (17日 (金) まで)
- 2月 22日 (水) 高等部入学者選考 (高等部は家庭学習) **もうすぐ**
- 2月 28日 (火) 高等部入学者選考合格者発表
- 3月 2日 (木) 高等部卒業証書授与式 (13:30 下校)
- 3月 8日 (水) 小学部・中学部卒業証書授与式 (13:30 下校)
- 3月 13日 (月) 高等部入学説明会
- 3月 17日 (金) 後期終業式・修了式 (13:30 下校)
- 3月 21日 (火) 春季休業日 (4月5日まで)  
小・中学部入学説明会



発行 愛知県立三好特別支援学校

〒470-0213 愛知県みよし市打越町山ノ神1番地の2

TEL <0561> 34-4832 FAX <0561> 32-4232

<http://www.miyoshi-sh.aichi-c.ed.jp/>

